

いわき市遠野町

遠野和紙・楮（こうぞ）を活用したデザイン提案

会津短大プロダクトデザインゼミ



チームについて

会津短大PDゼミ

本チームは、デザインの力で地域の活性化に貢献できるように心掛けています。地域資源や素材などを活用したイベントの開催や商品開発の実施など、地域のニーズに応えるモノづくりを目指しています。

遠野町について

いわき市遠野町では、伝統産業として遠野和紙が受け継がれています。

遠野和紙について

遠野和紙は、約400年の歴史を持ちます。しかし、洋紙の普及で職人が減り、2010年に最後の職人が廃業しました。2022年には住民有志の保存会が設立され、伝統の継承に取り組んでいますが、スタッフの高齢化に悩まされています。



今年度の活動内容



和紙製作工程に関する座学・実技講習



保存会の方々との雑談会（実地調査）

今年度の活動内容



遠野和紙灯りづくりワークショップへの参加



遠野和紙灯り展へ出展

活動により気づいた点

遠野和紙の
知名度が低い
応用先も少ない

和紙作りで
楮の芯は大量に廃棄される

保存会のメンバーは
ワークショップを実行する
ノウハウを持っている

活動目的の定義

- ① 遠野和紙の知名度向上
- ② 和紙・楮の活用法の提案
- ③ 和紙・楮を用いるワークショップの提案

和紙雑貨ブランドの提案

紙日和

-Kami biyori-

手触りが伝える自然と伝統の美

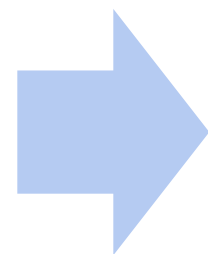
紙日和は、日本の伝統的な和紙の美しさと、現代のライフスタイルをつなぐブランドです。和紙が主役の日常をイメージし、親しみやすく、雑貨全般にマッチすることを考慮してネーミングしました。古来の工法・原料で作られた遠野和紙の質感や繊細さ、温かみや耐久性を現代の生活に取り入れ、使うたびに心に安らぎをもたらす製品を提供します。

「紙日和」の製品提案

「保存会のスタッフでも自作できるように」「ワークショップキット」といったデザインコンセプトとし、以下の作品を8種類を提案します。



楮の芯を用いた製品提案



楮の芯を用いた製品提案

今後について

来年度以降、
保存会の方々とともに提案した作品を制作して、
遠野地区周辺のイベントでの商品販売や子ども向けのワーク
ショップ開催を実施したい。

The background features several diagonal bars with color gradients. In the top right, there are bars in shades of pink, orange, and blue. In the bottom left, there are bars in shades of blue, purple, and yellow. Two thin, curved lines with circular endpoints cross the center of the image; one is light blue and the other is light pink.

ご覧いただき
ありがとうございました

会津短大 プロダクトデザインゼミ